

地方自治の発展と基幹産業の振興に尽力
佐藤修一さん(野塚町)が
旭日単光章を受章

元町議会議員の佐藤修一さん(野塚町88歳)が5月1日付けで、高齢者叙勲の旭日単光章を受章され、6月12日、自宅で松井町長から勲記と勲章が伝達されました。

また、農業委員会委員、民生・児童委員、積丹漁業協同組合理事など数多くの公職への就任を通して、地域の振興や町民の融和に貢献をされました。

佐藤さんは、昭和56年に積丹町議会議員に初当選以来、平成13年までの5期20年間にわたり、本町の地方自治の発展と基幹産業の振興に尽力されました。

松井町長は「長年のご労苦に敬意を。これからも私たちの郷土積丹町、そして野塚地区の限りない平和と振興発展に変わらぬご指導とお力添えを。」と祝意を述べられ、佐藤さんからは



「榮譽ある受章に感謝します。町民の心を一つにして困難を乗り越えて欲しい。」と謝辞とこれからの町づくりにへの期待と自身の思いを語っておりました。

地域の誇りでもあるこの受章を心から祝福するとともに、今後ますますのご活躍とご健勝をお祈りいたします。

積丹町と香美市合同(特別招待)チーム
 息のあった演舞

第18回
YOSAKOIソーラン祭り

約316チームが参加した第18回YOSAKOIソーラン祭り。今年も姉妹都市である高知県香美市との合同チーム「ヤーレンソーラン積丹町&香美市」を結成し「特別ゲストチーム」として参加しました。

6月13日、14日の2日間にわたり積丹町38人、香美市19人の総勢57人の踊り子たちは、時折雨の降るあいにくの天候のなか、道庁赤レンガ会場をはじめ大通北コースのパレードや市内ステージなどで「北のソーラン節・南のよさこい節」を合言葉に笑顔とかけ声を出し合い、息のあった踊りを披露し、大勢の観客から大きな拍手と声援が送られていました。

